

米子工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	保存再生論	
科目基礎情報							
科目番号	0022		科目区分	専門 / 選択			
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2			
開設学科	専攻科 建築学専攻		対象学年	専1			
開設期	後期		週時間数	2			
教科書/教材							
担当教員	金澤 雄記						
到達目標							
今後歴史的建造物の保存再生・取り壊しは必ず直面する問題である。 建築史や保存再生論を学んだ者として多方面の視点から「自分ならどうするか、どうしたいか」という命題・課題を考え、適切な判断ができるようになる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	文化財の考え方が説明できる		文化財の考え方が理解できる		文化財の考え方が理解できない		
評価項目2	身近な文化財を説明できる		身近な文化財を理解できる		身近な文化財を理解できない		
評価項目3	見学した文化財を的確な文章にまとめられる		見学した文化財を文章にまとめられる		見学した文化財を文章にまとめられない		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 B-4 学習・教育到達度目標 C-1 JABEE d1-d5							
教育方法等							
概要	歴史的建造物や町並みを取り巻く問題や現況を理解し、現代における存在価値を考える。その上で保存再生の経緯や事例を理解しながら、地域社会貢献の手法を考える。						
授業の進め方・方法	授業プリントを用意するが、板書以外の口頭で伝える内容においても重要と思うものは各自メモを取るなり心掛けてもらいたい。						
注意点	なお以下のような自学自習を60時間以上行い授業に臨むこと。 ・授業発表準備のため、諸文献・論文を調べ、まとめる ・必要であれば現地調査を行うこと ・身近に残る歴史的建造物や町並みを実際に見学し、問題点や地域での在り方を考えてみる ・期末試験のための勉強						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	授業のガイダンス 課題説明				
		2週	文化財の種類、文化財制度制定の系譜		指定文化財・登録文化財・国宝・重要文化財などの区別が理解できる		
		3週	指定文化財の概要		文化財の考え方の起源を理解できる		
		4週	登録文化財制度の概要と保存活用		登録文化財制度の考え方を理解できる		
		5週	日本の世界遺産		世界遺産の考え方を理解できる		
		6週	文化財でない地域の歴史的建造物		地域の歴史的建造物を知る		
		7週	町並みを守る（伝建制度について）		伝建制度の考え方を理解できる		
		8週	現地見学		米子の町並みと文化財		
	4thQ	9週	現地見学		米子の町並みと文化財		
		10週	現地見学		境港の町並みと文化財		
		11週	現地見学		境港の町並みと文化財		
		12週	現地見学		大山町の町並みと文化財		
		13週	現地見学		大山町の町並みと文化財		
		14週	レポート発表		現地見학을踏まえての見学レポートが書ける		
		15週	試験				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	計画・歴史	方法・制度の変遷について説明できる。		3	後2,後3,後4,後6,後7,後14,後15
				モジュールについて説明できる。		3	後2,後3,後4,後5,後6,後7,後14,後15
				建築設計に関わる基本的な家具をはじめとする住設備機器などの寸法を知っている。		3	後2,後3,後4,後5,後6,後7,後14,後15
				古代(例えば、エジプト、オリエント、エーゲ海、ギリシャ、ローマなど)の特徴について説明できる。		3	後5
				中世(例えば、ビザンチン、イスラム、ロマネスク、ゴシックなど)の特徴について説明できる。		3	後5
				近世(例えば、ルネサンス、マニエリスム、バロック、ロココなど)の特徴について説明できる。		3	後5

			原始(例えば、竪穴住居、高床建築、集落など)の特徴について説明できる。	3	後8,後9,後10,後11,後12,後13
			古代(例えば、住宅建築、寢殿造、都市計画、神社建築、寺院建築など)の特徴について説明できる。	3	後8,後9,後10,後11,後12,後13
			中世(例えば、住宅建築、神社建築、寺院建築(大仏様、禅宗様、折衷様など))の特徴について説明できる。	3	後8,後9,後10,後11,後12,後13
			近世(例えば、住宅建築、書院造、数寄屋風書院、町屋、農家、茶室、霊廟、社寺建築、城郭)の特徴について説明できる。	4	後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
			都市・地区・地域・建築物の規模に応じた防災に関する計画、手法などを説明できる。	3	後14,後15
			日本および海外における近現代の建築様式の特徴について説明できる。	4	後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	0	0	0	0	50	100
基礎的能力	10	0	0	0	0	20	30
専門的能力	40	0	0	0	0	30	70
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0